

第1回 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 2016平成28年 3月20日 (日曜日)
- 2 開催場所 弊社事務局
- 3 委員出席 委員総数 5名 出席委員数 4名
- (1) 出席委員の氏名 小坂 康雄、得上 成子、安藤 一宏、栗原さつき
- (2) 欠席委員の氏名 中村 真弓
- (3) 放送事業者側出席者名 放送事業者 越野 操
放送担当 望月 千弘、放送局副局長 早川 久美子
- 4 議題及び議事の概要、審議内容
- はじめに 放送事業者より挨拶、出席者の自己紹介
放送担当より、放送番組審議機関に関する説明

第1号議案 放送番組審議会規程の制定について

放送番組審議会規程(案)を示し、原案とおりに承認された。

承認された規定に基づき、

- (1) 委員長は、委員の互選により小坂 康雄 氏が選出され、放送事業者より委嘱された。
- (2) 委員の任期は、平成30年 3月31日までとする。
- (3) 次回開催を5月とする。

と決定した。

第2号議案 放送番組基準等の制定について

放送事業者は、

- (1) 放送番組に種別(案)
- (2) 放送番組の編集の基準(案)
- (3) 放送番組の編集に関する基本計画
- (4) 放送番組の編集の機構及び考査に関する事項

を示し、放送担当から説明後、原案とおりに承認された。

委員からの意思の統一としての話から

- (1) 示された基準類の変更手続き及びその方法について
- (2) 放送局の将来の姿と、放送番組の編集の自由及び著作権等の制限事項について

説明を求められた。

(1)については、放送担当から概要の説明と法令手続き上のことについては、総務省 関東総合通信局放送部に確認の上、次回の審議会において回答するとした。

また、

(2)については、放送事業者より地域振興を目的とした放送局であることから、まずは、目的となる越谷市及びその周辺となる東埼玉地域の地域情報を中核に置いた放送番組と、試験電波発射後、地域住民からリクエストの多かった「昭和のラジオから聴こえた音楽」を中心に構成し、民間放送局であることから、収益をも考えながら、徐々に、地域のみなさまが気軽に参加できる番組を、一緒に作り上げ、増やしていきたいと説明した、

安藤委員「将来、放送で送られる邦楽と洋楽との比率について、どう推移するか」との問いについては、放送担当及び副局長から、一般社会では、将来的において洋楽と呼ばれるリズム刻みの

楽曲が増えてくると考えられるが、放送局で使用する楽曲のほとんどは、法令によるレコードにより利用し、一般社団法人日本音楽著作権協会、公益財団法人日本芸能実演家団体協議会及び一般社団法人日本レコード協会との著作権利用の契約に基づき行われている。

そのような中、最近の楽曲は、CDによる提供は少なく、変わってダウンロードによる提供による方法に移ってきており、ダウンロードによる著作物には、上記に掲げた著作権団体以外の団体が管理しているもの多く、また、連絡先、管理番号等がないもの、著作権利用料金が高額なもの等あり、放送で使用したくても、できない著作物が増えてきている現状がある。

運用開始後は、放送での楽曲等の使用は、法令遵守を第一に、上記著作権3団体の許諾を受けた楽曲を中心に使用していくことになる。

と説明があった。

5 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容及びその年月日
(答申又は意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。)

なし

6 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法	<input type="checkbox"/> 放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。) <input checked="" type="checkbox"/> 当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き <input checked="" type="checkbox"/> 放送事業者の電子公告(http://www.koshigaya.fm/)で行なう。
公表の内容	上記1、3の人数及び4から5までの事項
公表年月日	平成28年 3月27日

7 その他参考事項

なし